

設計条件打合せ簿

【道路】
橋梁(橋脚)詳細設計

1/3

年 度	令和	年度	出張所等		担当職員		業務主任	業 務 員	
業 務 名					署 名				
受託者名					役職名	主 任 者	担 当 技 術 者 等	照 査 技 術 者	
打合せ年月日	令和	年	月	日	署 名				
路 線 名							打合せ結果記入欄		
橋 梁 名			橋 梁 型 式			確認が完了した項目には確認の日付を、確認が未了の項目には「保留」と記入すること。			
橋 脚 名			橋 脚 型 式						
フ ー チ ン グ 幅 決 定 寸 法			橋 軸 方 向		m単位				
			直 角 方 向		m単位				
付 属 施 設	検 査 路 ・ 昇 降 設 備								
	沓 座 面 手 摺 り (検 査 路)								
単 位 体 積 重 量	無 筋 コ ン ク リ ー ト	通 常			kN/m ³				
		水 中			kN/m ³				
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	通 常			kN/m ³				
		水 中			kN/m ³				
	水 (海 水)					kN/m ³			
	フ ー チ ン グ 上 の 土 砂	通 常			kN/m ³				
水 中			kN/m ³						
上 部 工 慣 性 力 の 作 用 位 置									
塩 害 対 策 ・ 使 用 材 料	塩 害 対 策 区 分								
	コ ン ク リ ー ト 設 計 基 準 強 度				N/mm ²				
	使 用 鉄 筋								
	塗 装 鉄 筋								
主 鉄 筋 の 最 小 径				D	mm				
主 鉄 筋 の 部	柱 ・ た て 壁				mm				
	フ ー チ ン グ 上 面				mm				
	フ ー チ ン グ 下 面				mm				
	上 ば り 上 面				mm				
許 容 応 力 度	コ ン ク リ ー ト の 曲 げ 圧 縮 応 力 度	常 時			N/mm ²				
		地 震 時			N/mm ²				
	コ ン ク リ ー ト の せん断 応 力 度	常 時			N/mm ²				
		地 震 時			N/mm ²				

※ 該当しない項目については、「-」を記入すること。

設計条件打合せ簿

【道路】
橋梁(橋脚)詳細設計

2/3

許容応力度	鉄筋引張り応力度	常時	N/mm ²	
		地震時	N/mm ²	
		上り	N/mm ²	
直接基礎 安定条件	基礎材の種類			
	基礎底面の摩擦係数			
	許容滑動安全率 (Fa)	常時	Fa =	
		地震時	Fa =	
	許容偏心距離 (m)	常時	ea =	
		地震時	ea =	
許容支持力 (kN)	常時			
	地震時			
杭基礎許容変位量			mm	
鋼管杭	材質			
	腐食交代		mm	
	杭施工方法			
	フーチング縁端距離		m	
	許容曲げ応力度	常時	N/mm ²	
地震時		N/mm ²		
PHC杭	種類			
	杭施工方法			
	フーチング縁端距離		m	
	許容曲げ圧縮応力度	常時	N/mm ²	
		地震時	N/mm ²	
	許容曲げ引張り応力度	常時	N/mm ²	
		地震時	N/mm ²	
	許容せん断応力度	常時	N/mm ²	
地震時		N/mm ²		

※ 該当しない項目については、「-」を記入すること。

設計条件打合せ簿

【道路】

橋梁(橋脚)詳細設計

3/3

場所打ち杭	フーチング縁端距離		m				
	鉄筋の最小かぶり		mm				
	許容曲げ圧縮応力度	常時		N/mm^2			
		地震時		N/mm^2			
	許容鉄筋引張り応力度	常時		N/mm^2			
		地震時		N/mm^2			
許容せん断応力度	常時		N/mm^2				
	地震時		N/mm^2				
杭頭結合部 許容応力度	垂直支圧応力度	常時	N/mm^2				
		地震時	N/mm^2				
	垂直押抜きせん断応力度		N/mm^2				
	水平押抜きせん断応力度		N/mm^2				
	仮想断面コンクリート 圧縮応力度	常時		N/mm^2			
		地震時		N/mm^2			
仮想断面鉄筋 引張り応力度	常時		N/mm^2				
	地震時		N/mm^2				
打合せ簿最終取交し日	令和	年	月	日	打合せ簿通し番号	No.	

※ 該当しない項目については、「-」を記入すること。